

外国人人材を積極採用 スズキハイテック(株)

経産省「新・ダイバーシティ経営企業100選」に

## 開発主導型へ転換加速

めつき技術を基盤に新規プロジェクトを展開しているスズキハイテック(株)(山形市銅町、鈴木一徳代表取締役社長)が、経産省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」(2020年度)に選ばれた。全国の大企業から中小企業の中で14社、東北から同社のみ。外国人社員を積極的に採用し活躍をサポート、受注生産中心だったビジネスモデルを開発主導型に転換し、成長企業へと変化させた実績が高く評価された。

同社は1914(大正3)年創業の老舗めつき加工業者。ミシンや音響・通信機器、半導体、自動車などその時々需要に対応し、大手企業からの受注で事業を拡大してきた。しかし、リーマンショック、東日本大震災により、取引先が相次いで海外へ生産拠点を移転。これに対応するため、2012年に現地企業と提携する形で中国へ進出、14年には同業と共同で、日本の自動車メーカーが進出しているメキシコに現地法人を設立し自動車部品のめつきを海外でも開始した。

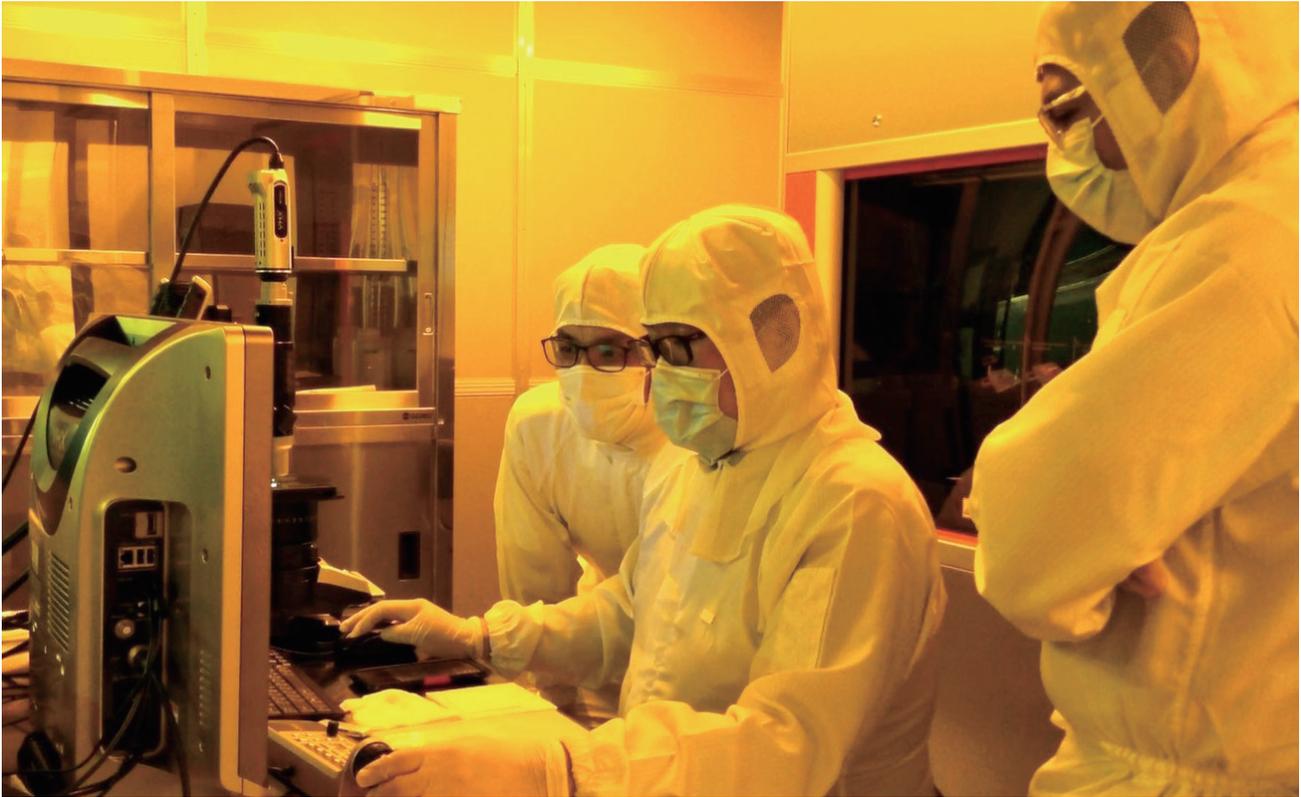
さらに、2015年に同社5代目となる鈴木一徳社長がトップに就任し、それまでの注文を受けて生産するビジネスモデルからの転換を加速。技術革新とともに「スクラップ&ビルド」をスローガンの一つに掲げ不採算事業を見直し、社内に10のプロジェクトの推進を示し設備投資を順次実行している。

世界への事業展開を見据えて新たなことに挑戦する企業体質に変えるため、その突破口となる人材として、外国人高度人材を積極的に採用。社員123人のうち高度人材11人を含めて中国、インドネシア、ボリビアなど21人を外国人が占めている。その1人ペトルス・ヤサヤ・サモリさん(32)はインドネシアパプア州出身。山形大学大学院理工学研究科博士課程でバイオ化学を学び2018年に入社、事業開発部に所属し研究開発の主要メンバーとして活躍している。また、ボリビア出身の社員はメキシコ工場の品質管理責任者として、中国出身の社員は中国での提携事業を現地と往復して担当しながら、国内での新規事業開発に貢献

している。鈴木社長は自ら外国人社員たちの故郷を訪れ、家族と食事をしながら経営者の気持ちを直接伝え、当社で働くことを理解し、快く送り出してもらおうよう働きかけている。鈴木社長は「当社の技術開発において、次々と結果を出す外国人社員を皆が認めて受け入れるようになり、既存の社員にも好影響が広がることで、新しい技術開発に挑んでいく組織風土が確立された。従来の組織体制では難しかった不採算事業の見直しや新規事業の計画推進など自



経産省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれたスズキハイテック社の鈴木社長(左から3人目)と事業開発メンバー

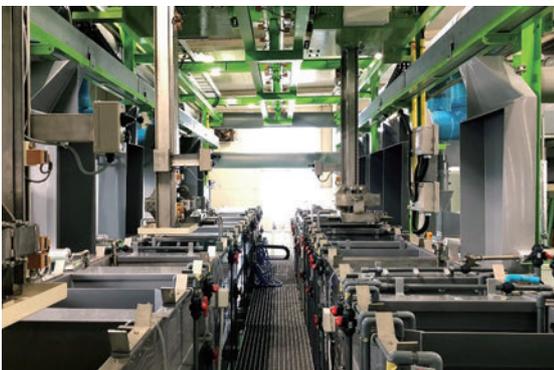


経産省の戦略的基盤技術高度化支援（サポイン）事業を受託し研究開発に取り組む

発的に考え、進める体制が生まれ  
た」と、その効果を語る。

2015年から開始した事業再編  
と新規事業開発は成果が徐々に現  
れ、新規事業の売上は全体の7割強  
を占める。高耐食性・高耐酸性・高  
耐摩性の無電解ニッケルめっき皮膜  
技術や、高圧力に耐えるめっき皮膜  
技術を開発。ホンダ系、トヨタ系の  
ハイブリッド車（HV）や電気自動車  
（EV）向けのパワーコントロール  
ユニット、ハイブリッド専用電池、  
次世代直噴インジェクターの量産化  
を進めて売上が急伸させている。

2019年からMEMS（微小電  
気機械システム）関連プロジェクト  
として、産学官の研究開発を支援す  
る経済産業省の戦略的基盤技術高度



ハイブリッド車PCU（パワーコントロール  
ユニット）向けめっき製造ライン

化支援（サポイン）事業を受託、山

形県産業技術振興機構、山形大学理  
工学研究科、山形県工業技術セン  
ター、大手ヘルスケアメーカーと研  
究開発共同体の中心となり、超音波  
噴霧解析技術、3次元フォトリグラ  
フイ、精密電鍍めっき技術の高度化  
により、医工連携分野でこれまで出  
来なかった事の解決や、さらに汎用  
的な技術に昇華させ幅広い分野で社  
会に貢献できるように、オール山形  
県のチームで研究開発を進めている。

さらに、鉄の5分の1の軽さで同  
じ強度を持つ素材であるCFRP  
（炭素繊維強化プラスチック）への  
めっき加工技術を確立、JAXA（宇  
宙航空研究開発機構）との共同研究  
で、小型レーダ衛星コンスタレー  
ション（衛星群）のアンテナ部品の  
開発を進めている。

鈴木社長は「創業100年を超え  
る企業を次につなげていくのが私の  
役目。新たなものづくりへの挑戦・  
新事業展開を全社共通認識として、  
多様な人材を集め、時代の変化に適  
したオンリー・ワンの技術を山形の  
地で開発し、地域のものづくり産業  
の発展に貢献したい」と意欲を示す。

新・ダイバーシティ経営企業10  
0選は2012年度から始まり、多  
様な人材が能力を最大限発揮できる  
機会を提供して価値創造につなげた  
企業を顕彰している。